

このサイトはAvast Business製品専用です。AVG Business製品に関する記事については、[AVG Business ヘルプを参照してください](#)。適切な場所にも探している情報が見つからない場合は、[Avast Businessサポートに連絡して](#)さらにサポートを受けてください。

現在の場所: ローカルクライアント > Linux > インストール

> ウィルス対策のインストール

# Linux 用ウイルス対策ソフトウェアのインストール

この記事は以下に適用されます:

- Linux 向けAvast ビジネス アンチウイルス

Linux 関連の完全なドキュメントについては、[『Avast Business Antivirus for Linux テクニカルガイド』](#)を参照してください。

Avast Business Antivirus for Linux は、Avastの通常の製品ラインの一部ではない、別途購入の非管理ソリューションです。保護にはGUIがなく、インストールと管理はターミナル経由で行われます。

[この製品は、このリンク](#)またはAvast販売チームを通じて購入できます。

インストールを実行する前に、[Linux システム要件](#)がすべて満たされていることを確認してください。

## パッケージ

Linux 向けAvast Business Antivirus製品には、標準ソフトウェアパッケージとして配布されるコンポーネントとソフトウェアリポジトリが含まれているため、すべての標準システム管理ツ

ールを使用してAvastプログラムを最新の状態に保つことができます。

## アバスト

avast パッケージは、コア スキャナ サービス (avast) とコマンド ライン スキャン ユーティリティ (scan) を提供します。また、コマンド ライン ライセンス ユーティリティ (avastlic) も含まれています。これにより、AMaViS を使用したオンデマンド スキャンとメール サーバーの統合が可能になります。

avast パッケージは avast-fss パッケージに必要です。

AMaViS は、メール スキャナーとの統合がすでに準備されている、メール プログラム (MTA) とコンテンツ チェッカー間のインターフェイスです。[技術ガイド](#)のセクション 8では、avast を AMaViS に統合する方法について説明します。

## アバスト-fss

avast-fss パッケージは、ファイル サーバー (通常は SMB/NFS サーバー) での使用向けに設計された、fanotify ベースの「書き込み時」ファイル システム シールドを提供します。

## アバストレスト

avast-rest パッケージには、Avastスキャナー サービス用の REST API を提供する HTTP サーバーが含まれています。

## Avastライセンス

avast-license パッケージには、アクティベーション コードまたはウォレット キーがある場合にライセンス ファイルのダウンロードを支援するスタンドアロンのコマンド ライン ツールであるavastlicツールが含まれています。

## インストール

Linux システムにインストールするには、Avastリポジトリをシステム リポジトリに追加し、リポジトリから必要なパッケージを取得する必要があります。

# デビアン/ウブントウ

サポートされているディストリビューション (\$DIST手順 1 のコマンドの変数):

- **Debian 10 「バスター」** : debian-buster
- **Debian 11 「ブルズアイ」** : debian-bullseye
- **Ubuntu 18.04 LTS 「バイオニックビーバー」** : ubuntu-bionic
- **Ubuntu 20.04 LTS 「Focal Fossa」** : ubuntu-focal
- **Ubuntu 22.04 LTS 「Jammy Jellyfish」** : ubuntu-jammy

1. Avastリポジトリをシステム リポジトリに追加します。

- root# **DIST**=\$(. /etc/os-release; echo "\$ID-\$VERSION\_CODENAME")
- root# echo "deb https://repo.avcdn.net/linux-av/deb **\$DIST** release" ¥ >  
/etc/apt/sources.list.d/avast.list

2. Avast公開キーをインストールし、パッケージ マネージャーの状態を更新します。

- root# cp /path/to/avast-gpg-key.asc  
/etc/apt/trusted.gpg.d/
- root# apt update

3. Avastパッケージをインストールし、オプションでAvast -fss パッケージとAvast -rest パッケージもインストールします。

- root# apt install avast
- root# apt install avast-fss
- root# apt install avast-rest

4. ライセンス ファイルを/etc/avastディレクトリにコピーします。

- cp /path/to/license.avastlic /etc/avast

ライセンス ファイルが適切なディレクトリに保存されると、Avastサービスを開始できます。ライセンス ファイルの検索の詳細については、「[Linux 用ウイルス対策のライセンス](#)」を参照してください。

# RHEL/CentOS

サポートされているディストリビューション:

- RHEL 7、CentOS 7 または互換バージョン: e17
- RHEL 8、AlmaLinux 8、Rocky Linux 8 または互換: e18
- RHEL 9、AlmaLinux 9、Rocky Linux 9 または互換バージョン: e19

はYUM に認識されている変数であるため、実際の値が上記のバージョンのいずれかと一致している限り、ファイル `$releasever` 内で手動で置き換える必要はありません。

```
avast.repo$releasever
```

1. Avastリポジトリをシステム リポジトリに追加します。

```
○ root# echo '[avast]
name=Avast
baseurl=https://repo.avcdn.net/linux-
av/rpm/el$releasever/release
enabled=1
gpgcheck=1
' > /etc/yum.repos.d/avast.repo
root#
```

2. Avast公開キーをインストールします。

```
○ root# rpm --import https://repo.avcdn.net/linux-
av/doc/avast-gpg-key.asc
```

3. Avastパッケージをインストールし、オプションでAvast -fss パッケージとAvast -rest パッケージもインストールします。

```
○ root# yum install avast
○ root# yum install avast-fss
○ root# yum install avast-rest
```

4. ライセンス ファイルを/etc/avastディレクトリにコピーします。

```
○ cp /path/to/license.avastlic /etc/avast
```

ライセンス ファイルが適切なディレクトリに保存されると、Avastサービスを開始できます。ライセンス ファイルの検索の

詳細については、「[Linux 用ウイルス対策のライセンス](#)」を参照してください。

Avast パッケージのインストール中に最新のウイルス定義データベース (VPS) がダウンロードされるため、インストールには時間がかかる場合があります。Avast GPG 公開キー (avast.gpg) の詳細については、「[Linux 用ウイルス対策の更新](#)」を参照してください。

## Avastサービスの開始

Avastパッケージは、サービスを開始および停止するための従来の init スクリプトを提供します。

- **サービスの開始:** `root# systemctl start avast`
- **サービスの停止:** `root # systemctl stop avast`

## 設定とVPSの再読み込みまたは再起動

- **構成を再読み込みします:** `root# systemctl reload avast`
- **すべてのデーモンを再起動し、ソケットを再作成します。** `root# systemctl restart avast.target`

Avastサービスはシステム ロガー (syslog) を使用してログ ファイルを作成します。ログ ファイルの保存場所はホスト システムによって異なります。最も一般的なログ ファイルパスは、`/var/log/messages`およびです `/var/log/syslog`。

### このセクションの他の記事:

[Linux 向けウイルス対策のライセンス](#)

### 関連記事 :

[Linux 用ウイルス対策ソフトウェアの更新](#)

[Linux 用ウイルス対策スキャンの設定](#)

現在の場所: ローカル クライアント > Linux > インストール > ウィルス対策のインストール

